

「令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果について

栃木県教育委員会

1 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2 調査対象（公立学校）

- (1) 小学校5年生、特別支援学校小学部5年生、義務教育学校前期課程5年生
- (2) 中学校2年生、中等教育学校2年生、特別支援学校中学部2年生、義務教育学校後期課程2年生
ただし、特別支援学校及び小・中学校の特別支援学級に在籍している児童生徒については、その障害の状況等を考慮して、参加の是非を判断。

【本県の実施人数】

	小学校（5年生対象）	中学校（2年生対象）	計
児童生徒数	16,113人 男子：8,278人 女子：7,835人	15,706人 男子：8,145人 女子：7,561人	31,819人 男子：16,423人 女子：15,396人
実施校数	356校	164校	520校

3 調査事項

- (1) 児童生徒に対する調査
 - 実技に関する調査
 - 【小学校8種目】
握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20m シャトルラン、50m 走、立ち幅とび、ソフトボール投げ
 - 【中学校8種目】
握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走（男子1500m、女子1000m）
又は20m シャトルラン、50m 走、立ち幅とび、ハンドボール投げ
 - 質問紙調査（運動習慣、生活習慣等）
- (2) 学校に対する調査
 - 質問紙調査（子供の体力の向上に係る学校の取組等）
- (3) 教育委員会に対する調査
 - 質問紙調査（子供の体力の向上に係る施策等）

※調査結果の概要における栃木県と全国の値は、公立学校を対象とした値である。

4 調査結果の概要

(1) 実技に関する調査【体力・運動能力の状況】

ア 体力合計点

小5男子は全国平均値をわずかに下回ったものの、小5女子、中2男女は全国平均値を上回った。

イ 各種目の特徴

○ 小学校5年生

・男子

反復横とび、20mシャトルランで全国平均値を上回った。握力、上体起こし、立ち幅とび、ボール投げはわずかに下回り、長座体前屈、50m走は下回った。

・女子

握力、上体起こし、反復横とび、20mシャトルラン、ボール投げで全国平均値を上回った。長座体前屈では下回った。50m走、立ち幅とびは、ほとんど差がみられなかった。

○ 中学校2年生

・男子

握力、反復横とび、20mシャトルランで全国平均値を上回った。50m走はわずかに下回り、ボール投げは下回った。上体起こし、長座体前屈、立ち幅とびは、ほとんど差がみられなかった。

・女子

握力、上体起こし、反復横とび、20mシャトルラン、立ち幅とび、ボール投げで全国平均値を上回った。長座体前屈、50m走では、ほとんど差がみられなかった。

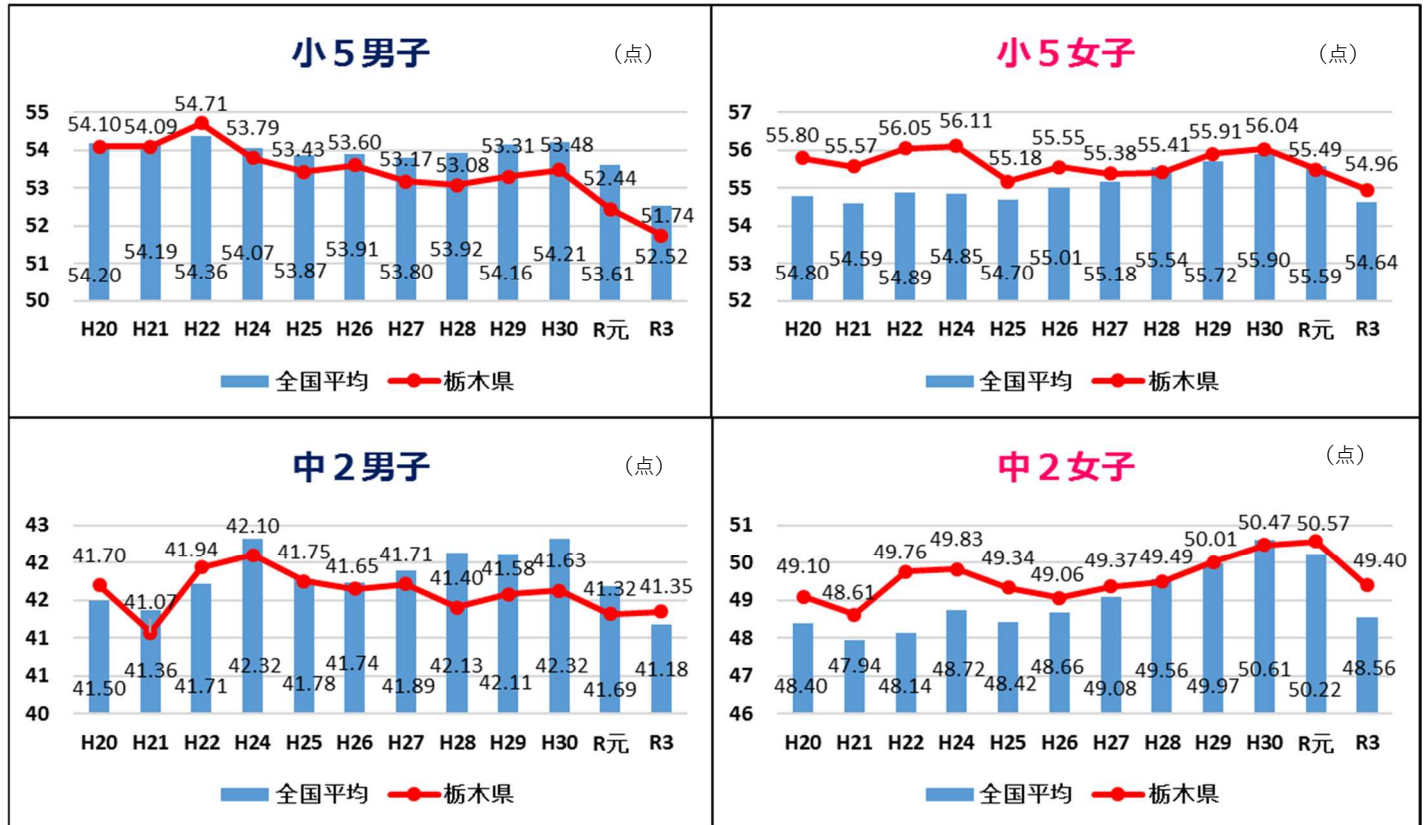


図1 【体力合計点の推移】

※平成22年および24年は抽出調査、平成23、令和2年は未実施

表1【令和3年度各種目別の状況】

※網掛けは全国平均より高い

種目	単位	小学校5年生						中学校2年生					
		男子			女子			男子			女子		
		栃木県	全国	差	栃木県	全国	差	栃木県	全国	差	栃木県	全国	差
握力	kg	15.95	16.22	▲ 0.27	16.11	16.09	0.02	29.26	28.80	0.46	23.83	23.43	0.40
上体起こし	回	18.56	18.90	▲ 0.34	18.12	18.08	0.04	25.87	25.99	▲ 0.12	22.49	22.32	0.17
長座体前屈	cm	32.13	33.48	▲ 1.35	36.66	37.90	▲ 1.24	43.56	43.67	▲ 0.11	46.13	46.20	▲ 0.07
反復横とび	点	41.33	40.35	0.98	40.18	38.72	1.46	52.35	51.19	1.16	47.29	46.25	1.04
20mシャトルラン	回	47.06	46.83	0.23	39.73	38.15	1.58	80.96	79.88	1.08	56.70	54.24	2.46
50m走	秒	9.56	9.45	▲ 0.11	9.66	9.64	▲ 0.02	8.06	8.01	▲ 0.05	8.91	8.88	▲ 0.03
立ち幅とび	cm	149.52	151.41	▲ 1.89	145.07	145.18	▲ 0.11	195.72	196.36	▲ 0.64	169.79	168.15	1.64
ボール投げ	m	20.02	20.58	▲ 0.56	13.76	13.30	0.46	19.74	20.31	▲ 0.57	12.73	12.72	0.01
体力合計点	点	51.74	52.52	▲ 0.78	54.96	54.64	0.32	41.35	41.18	0.17	49.40	48.56	0.84

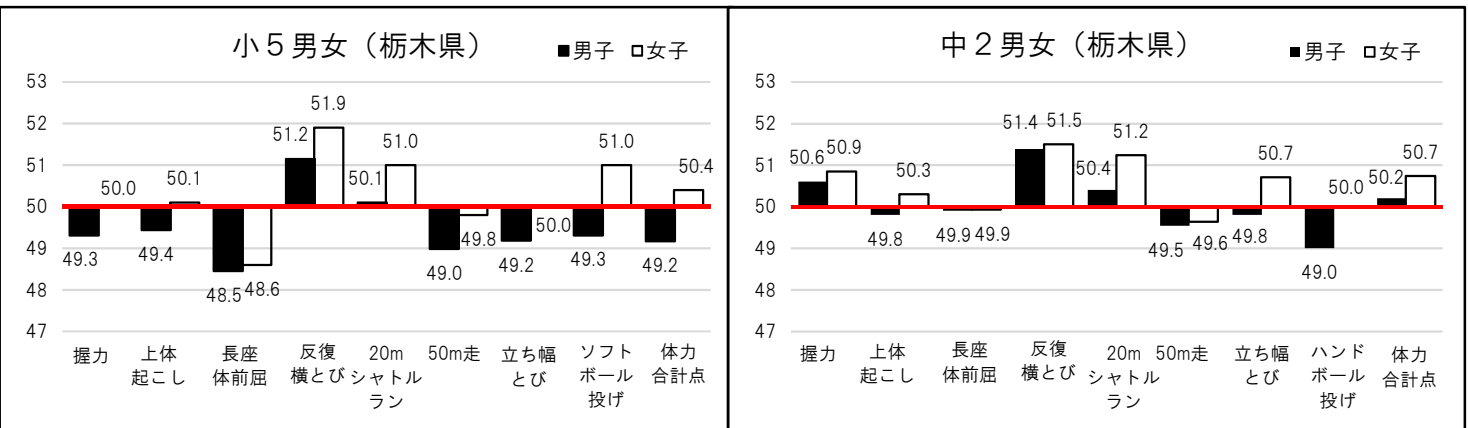


図2【令和3年度各種目のTスコア※】

※Tスコア…全国平均を50とした場合の本県の体力偏差値

(2) 質問紙調査

ア 質問項目

- 児童生徒質問紙調査：小・中学校ともに19項目

イ 児童生徒質問紙調査（抜粋）

- 「運動やスポーツが好き、やや好き」と回答した児童生徒は、小5女子を除いて全国平均より低い。
- 「運動やスポーツは大切」「中学校に進んだら(小5)、中学校卒業後(中2)でも自主的に運動やスポーツをしたい」「体育(保健体育)の授業で、自分の動きの質が向上していることを実感することがある」「体力テストの結果や体力・運動能力向上の目標を立てている」「最後までやり遂げてうれしかったことがある」「失敗を恐れないで挑戦する」「自分には、よいところがある」と回答した児童生徒は、小5、中2男女全てで全国平均より高い。
- 「学校の体育(保健体育)の授業以外で、運動やスポーツの実施週420分以上(1日60分以上)」は、小5男女において全国平均より低く、中2男女では全国平均より高い。
- 「学習以外でのスクリーンタイム※平日2時間以上」は、小5男女において全国平均より高く、中2男女では全国平均より低い。
※平日1日当たりのテレビ、スマートフォン、ゲーム機等による映像の視聴時間

表2【令和3年度児童生徒質問紙調査(抜粋)】

※網掛けは全国平均より高い

質問	小学校5年生				中学校2年生			
	男子		女子		男子		女子	
	栃木	全国	栃木	全国	栃木	全国	栃木	全国
1 運動(体を動かす遊びも含む、以下同様)やスポーツが好き(やや好きも含む)	90.0%	91.0%	83.9%	83.7%	86.7%	87.5%	74.8%	75.4%
2 運動やスポーツは大切	69.3%	67.5%	62.4%	58.9%	69.1%	67.4%	56.7%	55.4%
3 中学校に進んだら(小5)、また中学校卒業後(中2)でも自主的に運動やスポーツをしたい	62.9%	62.0%	55.8%	53.8%	57.3%	56.8%	44.1%	43.8%
4 学校の体育(保健体育)の授業以外で、運動やスポーツの実施週420分(1日60分)以上	44.9%	48.0%	25.6%	28.3%	84.7%	79.1%	65.0%	58.4%
5 学習以外でのスクリーンタイム平日2時間以上	63.3%	62.5%	55.5%	53.6%	67.9%	70.9%	63.9%	68.2%
6 体育(保健体育)の授業で、自分の動きの質が向上していることを実感することがある	38.8%	37.5%	29.1%	26.1%	33.5%	30.3%	22.0%	19.8%
7 体力テストの結果や体力・運動能力向上の目標を立てている	71.2%	68.6%	72.0%	67.9%	66.8%	64.4%	67.2%	64.0%
8 最後までやり遂げてうれしかったことがある	71.2%	68.3%	72.5%	68.6%	72.2%	69.4%	71.4%	70.0%
9 失敗を恐れないで挑戦する	44.8%	41.6%	38.2%	33.8%	38.7%	32.8%	26.7%	22.9%
10 自分には、よいところがある	47.0%	43.2%	41.7%	36.0%	39.9%	35.5%	27.2%	23.1%

「令和3(2021)年度栃木県児童生徒の体力・運動能力調査」の結果について

栃木県教育委員会

1 調査概要

(1) 目的

県内小・中学校、義務教育学校及び高等学校の児童生徒を対象に、新体力テスト及び身体計測を実施し、児童生徒の発育及び体力・運動能力の現状を明らかにするとともに、行政上の基礎資料を得る。

(2) 対象

県内全ての公立小・中学校、義務教育学校及び県立高等学校（全日制・定時制）を調査した。

【標本数】

	小学校	中学校	高等学校		計
			全日制	定時制	
児童 生徒数	90,149 人	45,697 人	31,606 人	567 人	168,019 人
	男子：46,159 人	男子：23,739 人	男子：15,300 人	男子：321 人	男子：85,519 人
	女子：43,990 人	女子：21,958 人	女子：16,306 人	女子：246 人	女子：82,500 人

(3) 実施期間

令和3(2021)年4～7月

(4) 内容

スポーツ庁「新体力テスト実施要項」により新体力テストを実施した。なお、中学・高等学校で選択種目となる持久走と20mシャトルランは、後者のみを対象とした。

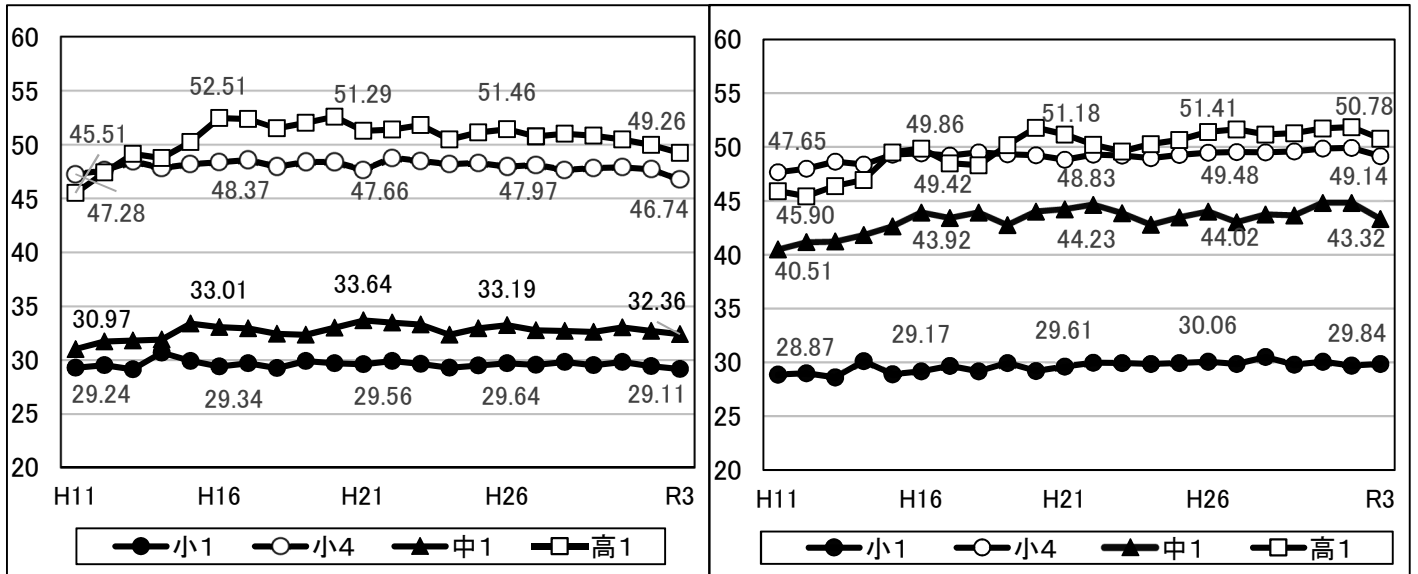
種目	体力評価	基礎運動能力評価	測定概要
握力	筋力	—	計器による握力測定を行い、左右平均値を kg 単位で算出する。
上体起こし	筋力 筋持久力	—	仰臥姿勢（あおむけ）から上体を起こす動作が 30 秒間に何回できるかを測定する。
長座位前屈	柔軟性	—	長座位姿勢から上体を前屈した時の柔軟性を cm 単位で測定する。
反復横とび	敏しょう性	—	1 m 間隔の 3 本のラインをサイドステップで左右に反復し、20 秒間内でラインを通過した回数を数える。
20mシャトルラン	全身持久力	—	速度が段階的に増加する信号音に合わせて、20m 間往復の持続走を行い、反復可能な回数を数える。
50m走	スピード	走る	50m を走る時間を 10 分の 1 秒単位で測定する。小学生はスタンディングスタート、中学・高校生はクラウチングスタートにより行う。
立ち幅とび	筋パワー	跳ぶ	立位姿勢から両足踏み切りで前方へ跳躍した距離を cm 単位で測る。
ボール投げ	巧み性 筋パワー	投げる	原則としてオーバーハンドスローにより、小学生はソフトボール、中学生はハンドボールを用いて遠投距離を m 単位で測る。

出典「新体力テスト 有意義な活用のために」文部省 平成 12 年（測定概要を独自追記）

※ これらの 8 種目を、それぞれ定められた基準により 10 点満点で評価した得点の合計を「体力合計点」とする。（80 点満点であり、性別・学校種別で基準が異なる。）

2 結果概要

(1) 調査開始以降 22 年間（平成 11(1999)年～令和 3(2021)年度）における体力合計点の推移



《男子体力合計点》

《女子体力合計点》

図 1 調査における新体カテスト体力合計点の推移

※H29 より悉皆調査実施、R 2 は新型コロナウイルス感染症の影響で調査中止

○ 男女とも、近年においてほぼ横ばいであるが、令和元(2019)年度から比較すると低下傾向である。

(2) 調査開始以降 22 年間（平成 11(1999)年～令和 3(2021)年度）における令和 3(2021)年度の傾向

表 1 調査開始以降 22 年間（平成 11(1999)年～令和 3(2021)年度）における令和 3(2021)年度の傾向

性別	種目	小学校						中学校			高等学校（全日制）			高等学校（定時制）			
		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高4
		6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	15歳	16歳	17歳	18歳
男子	握力	▲	▲	▲	▲	▲	▲			▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
	上体起こし					▲			▲							○	
	長座体前屈							○		○							
	反復横とび																
	20mシャトルラン				▲	▲	▲		▲				▲			▲	
	50m走					▲					○	○	○		○	○	▲
	立ち幅とび								○	○							▲
	ボール投げ	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲			▲	▲	▲				▲
	体力合計点	▲	▲	▲	▲	▲	▲										▲
女子	握力	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲		
	上体起こし															○	○
	長座体前屈		○		○	○	○	○	○	○	○	○					
	反復横とび									○					○	○	
	20mシャトルラン																
	50m走																○
	立ち幅とび	○			○					○		○			○	○	
	ボール投げ	▲	▲	▲	▲	▲	▲				▲		▲				○
	体力合計点														○	○	○

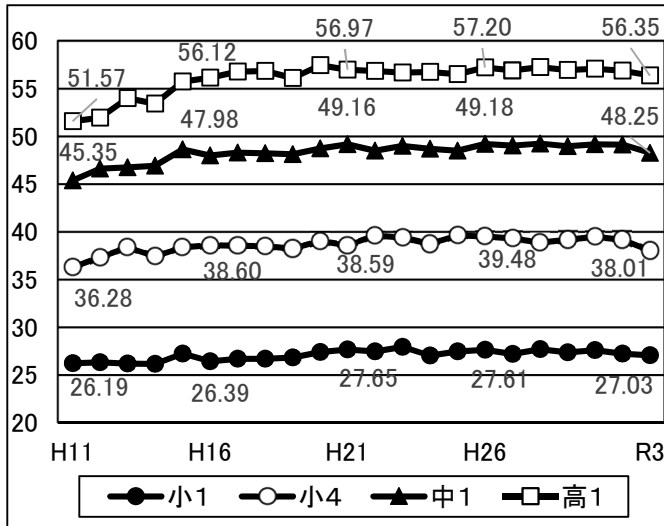
○・・・過去22年間で今年の平均値が上位3位以内に入った種目

▲・・・過去22年間で今年の平均値が下位3位以内に入った種目

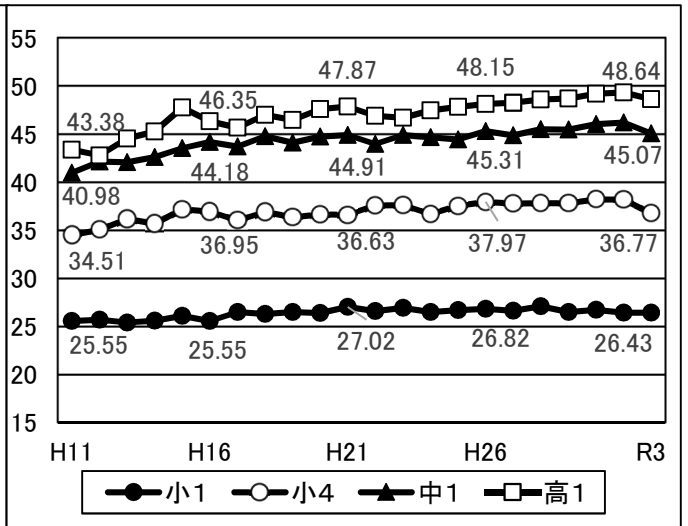
- 男子は、長座体前屈や50m走、立ち幅とびで上位となった学年があるが、握力では小、中、高等学校ほとんどの学年で下位となり、ボール投げや体力合計点は小学校全ての学年で下位となった。
- 女子は、長座体前屈で多くの学年で上位となり、反復横とび、立ち幅とびでも上位となった学年があったが、握力では、ほとんどの学年で下位となり、ボール投げについては小学校全ての学年で下位となった。

(3) 調査における発達の段階、種目の平均値の推移

ア 緩やかに向上している種目の例

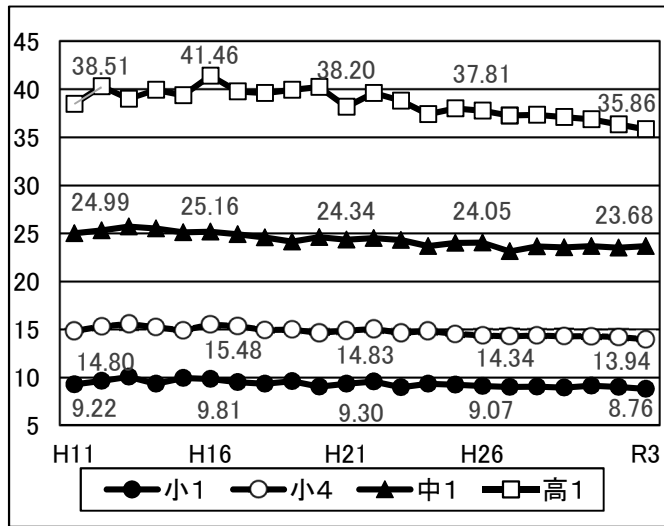


《男子：反復横とび(回)》

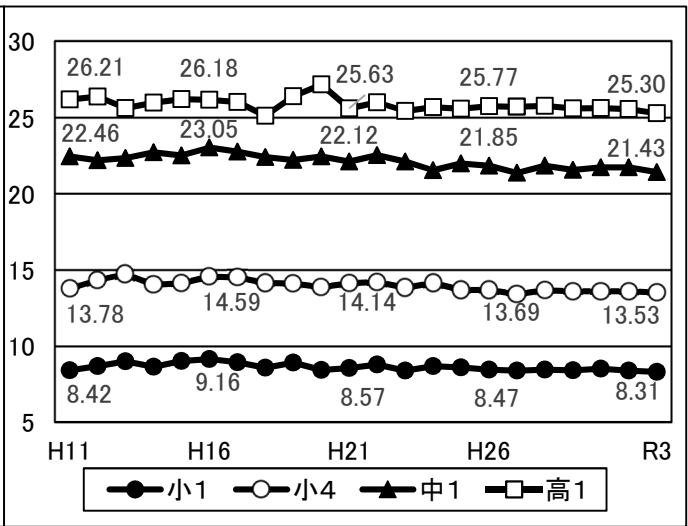


《女子：反復横とび(回)》

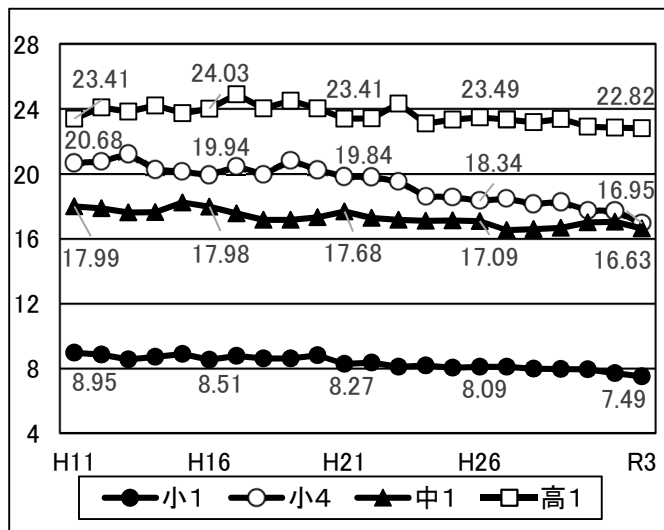
イ 低下傾向にある種目の例



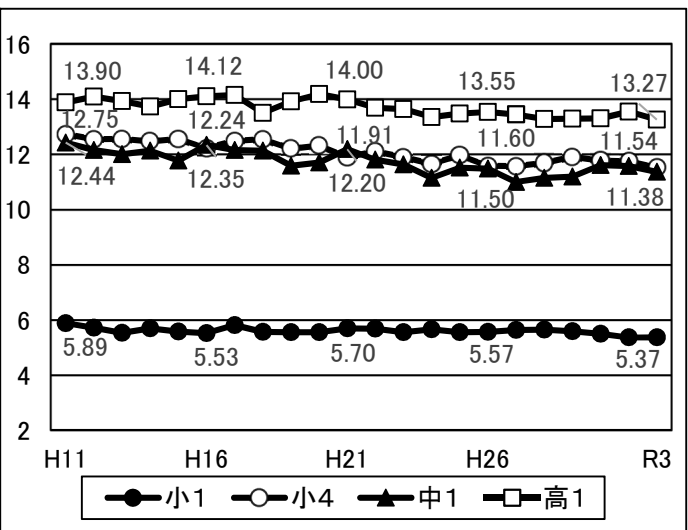
《男子：握力(kg)》



《女子：握力(kg)》



《男子：ボール投げ(m)》



《女子：ボール投げ(m)》

- 反復横とびについては、男女ともに緩やかに向上する傾向がみられる。
- 握力、ボール投げについては、男女ともに低下する傾向がみられる。